

2007年度(2007年1月1日から
2007年12月31日まで)事業計画書

1. 学術的会合

- 1-1. 年次大会・春季大会
- 1-1-1. 第62回年次大会
会期：9月21日(金)～24日(月)
会場：北海道大学, 札幌コンベンションセンター(予定)(共に札幌市)
- 1-1-2. 春季大会
- 1-1-2-1. 素粒子論, 素粒子実験, 理論核物理, 実験核物理, 宇宙線・宇宙物理の各領域
会期：3月25日(日)～28日(水)
会場：首都大学東京(東京都八王子市南大沢)
- 1-1-2-2. 上記以外の領域(主に物性関係)
会期：3月18日(日)～21日(水)
会場：鹿児島大学郡元キャンパス(鹿児島市郡元)
- 1-2. 第3回 Jr. セッション
会期：3月27日(火)
会場：首都大学東京(東京都八王子市南大沢)
- 1-3. 領域レビューセッション(試行)
第62回年次大会(北海道大学, 札幌コンベンションセンター)会期中に, 試行的に開催予定.
- 1-3. 国際会議の主催・共催
- 1-3-1. 原子核物理学国際会議(INPC2007)
主催：高エネルギー加速器研究機構, 理化学研究所, 大阪大学核物理研究センター
会期：6月3日(日)～8日(金)
場所：学術情報センター(東京都千代田区)
本会代表運営委員：永宮正治(高エネ機構)
- 1-4. その他の学術的会合
- 1-4-1. 科学セミナー
テーマ：(検討中)
会期：(未定)
場所：(未定)
- 1-4-2. 公開講座(科研費補助金を受けて開催予定)
- 1-4-2-1. 理事会企画
テーマ：物理が解き明かす脳のひみつ
会期：10月27日(土)午後
場所：東京大学大学院数理学研究科大講義室(東京都目黒区)
- 1-4-2-2. 大阪支部企画
テーマ：公開シンポジウム「極限を目指す物理の最前線」
—物理の進歩はこんなところまで来ている！—
会期：11月25日(日)
場所：大阪科学技術センター(大阪市)
- 1-4-3. 支部例会等
北海道, 東北, 新潟, 名古屋, 北陸, 京都, 大阪, 中国, 四国, 九州の各支部において適宜開催.
- 1-4-4. 国内会議, 国際会議等の共催・協賛・後援
他学協会等主催の国内会議, 国際会議等を理事会で審議のうえ共催・協賛・後援.

2. 刊行関係

- 2-1. 日本物理学会誌
第62巻1号～12号, 月刊. A4判, 毎号130ページ, 各18,200部発行.
なお, 年次大会・春季大会のプログラムを3月および8月に増刊号としてそれぞれ発行予定.
- 2-2. JOURNAL OF THE PHYSICAL SOCIETY OF JAPAN (JPSJ)
Vol. 76 No. 1～13 (No. 13はVolume Index), 月刊(電子版は月2回刊行). A4判, 毎号302ページ(No. 13は120ページ予定), 各1,235部発行. なお, 刊行業務はIPAPが実施. 本会は650部引取.
- 2-3. JPSJのデータベース化
1988年から1974年までの引用文献欄の電子化.
- 2-4. その他
下記の研究資料等を発行し会員等の希望者に有料または無料で頒布する.

- 2-4-1. 講演概要集
年次大会・春季大会の講演概要集各4分冊
- 2-4-2. 物理学論文選集
刊行しない
- 2-4-3. 科学セミナーテキスト
2007年度に開催する科学セミナーのテキスト
- 2-4-4. JPSJ Vol. 76 (2007) Supplement
(予定)
- 2-4-5. 大学の物理教育
3月, 7月, 11月の年3回発行.
- 2-4-6. 公開講座テキスト(無料)
2007年度に開催する公開講座のテキスト
- 2-4-7. 会員名簿
出版しない

3. 国際交流・協力関係

- 3-1. オーストラリア・ヨーロッパ・ドイツ・韓国・台湾・香港・メキシコ・ポーランド・アメリカ・イギリス, 等の物理学会, およびその他の諸団体との交流・協力
- 3-2. AAPPS(アジア太平洋物理学会連合)への参加・支援
- 3-3. AAPPS Bulletin 刊行への援助
- 3-4. ASPEN (Asian Physics Education Network) への協力
- 3-5. 開発途上国へのJPSJ別刷代援助およびJPSJ等の寄贈
- 3-6. IUPAP (International Union of Pure and Applied Physics) への支援
- 3-7. UNESCO PAC (Physics Action Council) への協力
- 3-8. APS (The American Physical Society) の Council Meeting への代表派遣
- 3-9. APPC(アジア太平洋物理学会連合)への協力
- 3-10. Women in Physics への協力
- 3-11. EPS との協力

4. 図書・雑誌の供覧および物理学史資料の利用

本会所蔵の図書・雑誌を会員の利用に供する. また本会所蔵の物理学史資料の利用希望に応じる.

5. 日本物理学会論文賞

JPSJおよびPROGRESS掲載論文の中から5篇以内を選び表彰する.

6. 日本物理学会若手奨励賞の設置

学会講演, 学術論文, 学位論文などの中から, 各領域が推薦し, 理事会で選び表彰する.

7. その他

- 7-1. 理事会で適当と認められた事業
各種特別委員会等での検討をもとに理事会で承認した事業等.

なお, 上記のほか次の欧文誌を共同で発行する.

7-2. PROGRESS OF THEORETICAL PHYSICS (PROGRESS)

本会との共同で理論物理学刊行会から発行.
Vol. 117 No. 1～6, Vol. 118 No. 1～6, 月刊
B5判, 毎号約200ページ, 各900部発行
創刊号からの電子版をインターネットで提供.
Supplement 数冊を発行予定.